インフラメンテナンス国民会議
中部フォーラム

中部フォーラム事務局

Japanese Congress for Infrastructure Management

インフラメンテナンス国民会議

平成28年11月28日設立

「インフラメンテナンス国民会議」とは

○インフラメンテナンスに産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとして活動しています。

組織体制

■会長
冨山 和彦
株式会社経営共創基盤(IGPI) IGPIグループ会長
株式会社日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長

■副会長
家田 仁
政策研究大学院大学 特別教授

実行委員会
国民会議全体の運営

- **企画部会**：企画等
- **広報部会**：インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報
- **（R4.4.28設立）インフラメンテナンス市区町村長会議**
  - ・首長同士の意見交換による知見や意識の向上
  - ・トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
  - ・社会に対するインフランテナンスの必要性の啓発

954の首長が参画
＜参画率50%以上！＞

※「インフラメンテナンス市区町村長会議」は、行政会員である市区町村の長によって構成

公認フォーラム

- **革新的技術**：オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング
- **自治体支援**：地方公共団体の課題解決、地方公共団体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換
- **技術者育成**：地域における技術者育成の活動を支援
- **市民参画**：インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開
- **海外市場展開**：海外への情報発信や海外展開案件形成
- **地方フォーラム**：地方におけるオープンイノベーション推進等（全国10ブロック）

目的

①革新的技術の発掘と社会実装
②企業等の連携の促進
③地方自治体への支援
④インフラメンテナンスの理念の普及
⑤インフラメンテナンスへの市民参画の推進

会員数

（令和5年4月30日時点）

2,760者

行政会員	1,327者
企業会員	975者
団体会員	172者
個人会員	286者

公認フォーラムの活動内容例

○ **産学官民の会員ネットワークを活かし、自治体や地域の取組の発展に向けて活動を行います。**

新技術の活用

メンテナンスの課題を解決する技術等の紹介や技術マッチング

新技術の導入検討のための現場試行の調整

地域一体で取り組むメンテナンス

地域が主体となったメンテナンス活動の紹介

地域一体の取り組みへのサポート

民間のノウハウ活用

包括的民間委託等の民間活用の取組み事例の紹介

個別施設計画の策定･実施の課題解決につながるアイデア紹介

技術者体制づくり

技術者の確保や育成に関する各地での取組み紹介

地域における技術者派遣の仕組みづくりの支援

中部フォーラムとは（国民会議の地方組織の一つ）

中部フォーラムは、H30.1.26に発足し、民間企業（11社）で中部地方のインフラメンテナンスの自治体支援のために、ボランティアで活動しています。

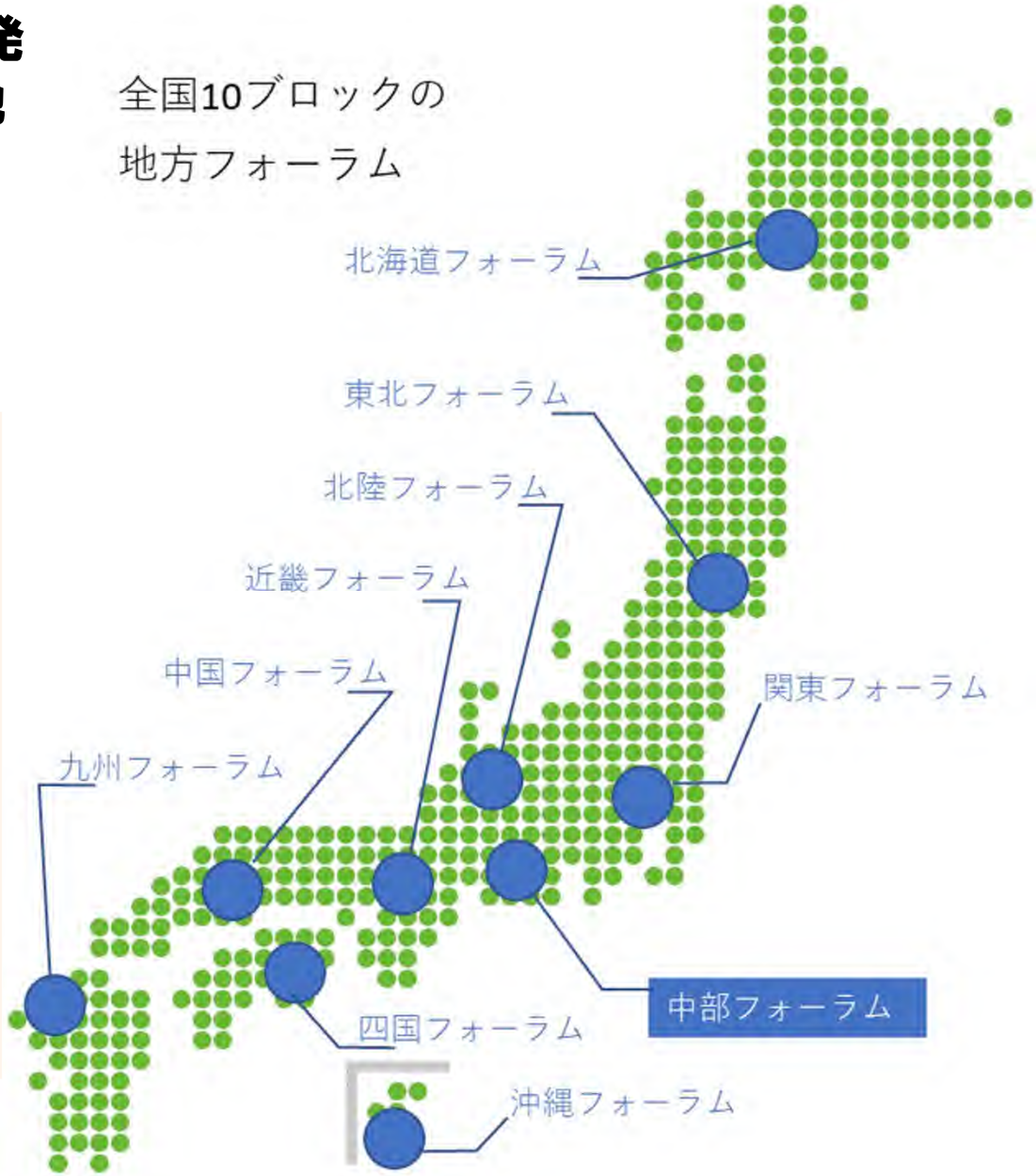
中部フォーラムの活動目標

① インフラメンテナンスの実情・課題の把握と共有

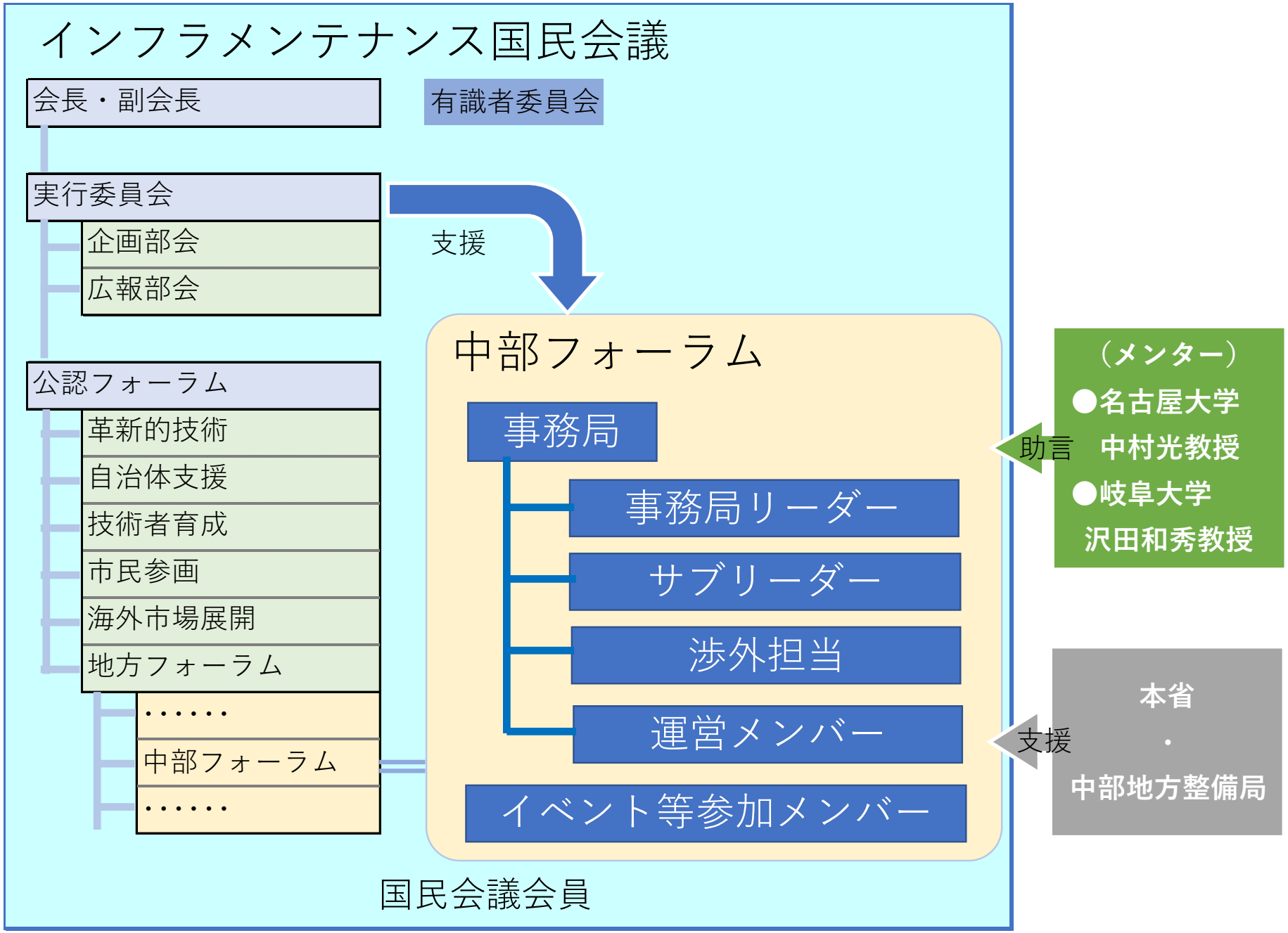
② 自治体支援

③ 市民協働の促進、産官学民の連携

④ 現場ニーズと技術シーズのマッチング支援



中部フォーラムの構成（概略図）



中部フォーラム事務局体制表

1	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
2	大日コンサルタント(株)	渉外担当
3	中央コンサルタンツ(株)	サブリーダー
4	(株)テイコク	
5	東亜道路工業(株)	
6	戸田建設(株)	渉外担当
7	ニチレキ(株)	
8	日本工営(株)	本部実行委員
9	日本工営都市空間(株)	リーダー
10	ホーメックス(株)	
11	八千代エンジニヤリング(株)	

※代表連絡先　日本工営都市空間（株）原田
chubu-forum@tamano.co.jp

中部フォーラムの目指すところ

○インフラメンテの仕組み作り

インフラ（道路や堤防など）

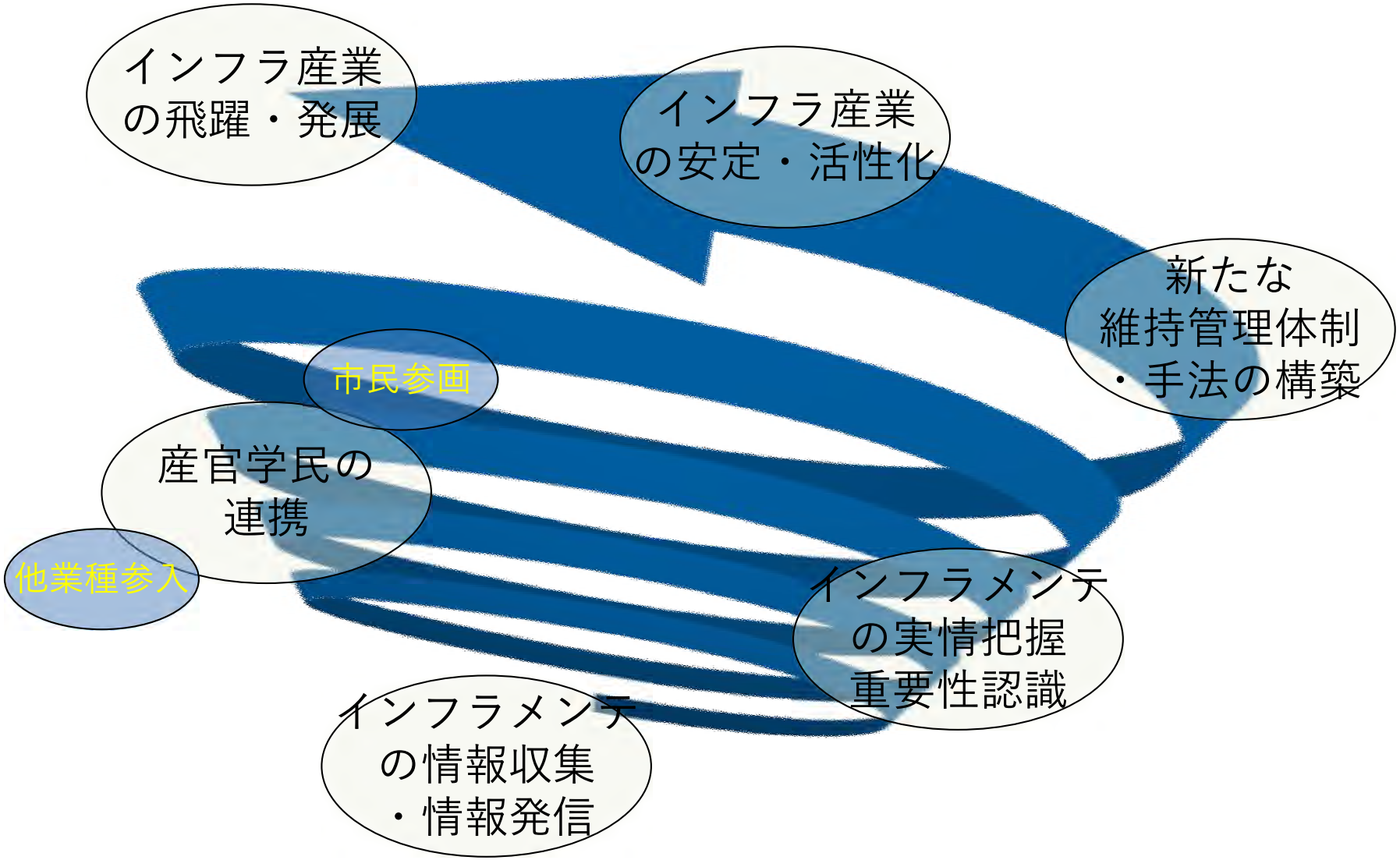
市民参画

大学等
研究機関

役所
（国・県・市町村）

多様な産業
ICT,ﾍﾞﾝﾁｬｰ,保険,
ロボットなど

建設業界
（ｾﾞﾈｺﾝ・ｺﾝｻﾙ・ﾒｰｶｰ等）

中部フォーラムの目指すところ

○インフラ産業の発展（スパイラルアップ）